

地域の未来：住民が責任を持って守っていく、暮らしやすいまち

	1. 安全・安心な暮らしを支える防災・防犯にむけた仕組みづくり	2. 地域の歴史・伝統・文化の継承	3. 住民主役のまちづくりの推進	4. 住民自治を支える行財政システムの確立																																																						
	総務課、建設下水道課	生涯学習課、地域振興課	地域振興課、企画財政課、総務課、生涯学習課	地域振興課、総務課、企画財政課																																																						
成果が上がったこと	<ul style="list-style-type: none"> 【防災インフラの強化】地区防災計画に基づき、防災公園の整備や消防設備の更新等防災インフラの強化を実施。また防災公園は防災活動や地域活動の場としても機能。 【地域による防災・防犯の取組】自主防災組織の組成や防災備蓄倉庫の整備、自治体・PTA・防犯ボランティアの連携によるパトロール等、地域での防災・防犯の取組実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 【古墳群等の適切な維持管理】野津古墳群の景観維持や、案内板や解説サイン設置等の環境整備による適切な維持管理の推進。 【他市連携】八代博物館との連携によるPRや出土品展示。 【地域連携】地域学校協働本部事業やコミュニティ・スクール活動との連携による伝統芸能の継承。 	<ul style="list-style-type: none"> 【自治組織の形成】全地区でまちづくりの推進に向けた自治組織が形成されるとともに、地区づくりの活動拠点として地区公民館の改修を実施。 【地区の自主的な取組支援】地区活性化交付金による地域のまちづくり活動の支援（まちづくり新聞の作成等） 【町外への訴求】まつりにおける交流人口の拡大や特産品のPRを実施(コロナ禍では未実施)。 	<ul style="list-style-type: none"> 【行政と地域の連携】地区担当職員制度については定着しつつあり、地区担当職員が地区総会等に出向く等、地域とのつながりが形成されつつある。 【行政手続きの効率化】窓口申請の一元化による事務の効率化の実施。また、行政手続きのオンライン化に向けた環境整備を進めている。 																																																						
	地区防災計画の策定（更新）地区数【地区】	草刈等の実施カ所【カ所】	地区館活動の活性化	各種補助金の統合（下段は事業費（千円））																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29</td> <td>39</td> <td>30</td> <td>36</td> <td>39</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	29	39	30	36	39	39	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17</td> <td>10</td> <td>17</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	17	10	17	18	20	20	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未実施</td> <td>検討</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> <tr> <td>24,868</td> <td>24,616</td> <td>22,385</td> <td>20,113</td> <td>20,126</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	未実施	検討	実施	実施	実施	実施	24,868	24,616	22,385	20,113	20,126	
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																					
29	39	30	36	39	39																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																					
17	10	17	18	20	20																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																					
実施	実施	実施	実施	実施	実施																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																					
未実施	検討	実施	実施	実施	実施																																																					
24,868	24,616	22,385	20,113	20,126																																																						
	防犯灯設置総数【基】	指定民俗団体活動に対する助成金（千円）	テーマ型活動住民・団体等グループへの支援制度	オンライン手続きの利用者（人）																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>900</td> <td>1,053</td> <td>1,059</td> <td>1,070</td> <td>970</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	900	1,053	1,059	1,070	970	1,000	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>250</td> <td>160</td> <td>170</td> <td>215</td> <td>215</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	250	160	170	215	215		<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,511</td> <td>1,964</td> <td>1,905</td> <td>2,506</td> <td>333</td> <td>2,500</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	1,511	1,964	1,905	2,506	333	2,500						
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																					
900	1,053	1,059	1,070	970	1,000																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																					
250	160	170	215	215																																																						
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																					
実施	実施	実施	実施	実施	実施																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																					
1,511	1,964	1,905	2,506	333	2,500																																																					
課題が顕著なこと	<ul style="list-style-type: none"> 【行政支出の増大】防災活動の効率化は見込めず、防災に関する自治体への要求は増加の一途をたどる。また今後の維持管理費の増加（施設や設備の維持、防災マップ等の制作物の更新）。 【担い手不足】少子高齢化による防災・防犯の担い手不足。取組の効率化、合理化が必要（防犯カメラ等の活用）。 	<ul style="list-style-type: none"> 【維持管理の適正化】景観維持のため実施している伐採は人力で行う必要があり範囲が限られる。また草刈りに伴う経費は町予算を投じている（今後はヤギを放牧する等、予算削減策が必要）。 【専門性の担保】歴史・伝統・文化に関する職員等の専門的な知識向上や専門家との協力が必要。また、専門知識や情報の共有の場が必要。 【担い手の高齢化】各団体のメンバーの高齢化が進み、伝統行事等の継承者の確保が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> 【活動の停止】新型コロナウイルスによる対面を伴う取組の実施が困難となった。 【自治会役員等への負担の集中】各種補助金の統合等により、区長や地区会計に負担が偏っている可能性がある。 【活動主体の発掘】新たなまちづくり人材や民間の活動主体の育成や発掘が進んでいない。また、過去実施されてきた全国大学生政策アカデミーが令和5年以降は実施の予定がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 【行政職員の育成】地区担当職員の役割が限定的になっており、まだまだ地区との関係が希薄である。地区づくりに積極的に関わっていただけるような取組みを進める必要がある。 【負担の集中】窓口申請を一元化したものの、交付申請に係る区長負担が大きい。 【コロナ禍での取組み推進】新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、安心して施設を活用できる方法の検討が必要。 																																																						
	自主防災訓練の実施【地区】	古墳群全域の把握・踏査【%】	氷川まつりの来場者数【人】	まちづくりに携わる職員のスキルアップ																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>39</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	39	39	39	16	17	39	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>完了</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	0	0	0	0	0	完了	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000</td> <td>8,000</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>8,000</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	7,000	8,000	中止	中止	中止	8,000	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	実施	実施	未実施	未実施	未実施	実施						
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																					
39	39	39	16	17	39																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																					
0	0	0	0	0	完了																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																					
7,000	8,000	中止	中止	中止	8,000																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																					
実施	実施	未実施	未実施	未実施	実施																																																					
	パトロール実施回数【回】	伝承館利用人数【人】	町広報誌の活用や地区づくり新聞発行築数（地区）																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80</td> <td>200</td> <td>175</td> <td>115</td> <td>200</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	80	200	175	115	200	200	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>929</td> <td>671</td> <td>729</td> <td>466</td> <td>494</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	929	671	729	466	494	1,000	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	2	0	0	0	1	10																			
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																					
80	200	175	115	200	200																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																					
929	671	729	466	494	1,000																																																					
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																																					
2	0	0	0	1	10																																																					

《施策の体系ごとの成果と課題》（赤文字：主担当課、オレンジ文字：成果、青文字：課題）

方向性	施策の体系	担当課	成果	課題
1. 安全・安心な暮らしを支える防災・防犯にむけた仕組みづくり	①安全・安心な暮らしを守る防災・減災の推進 身近な地区での防災・減災を推進するため、地区防災計画の策定及び更新を通じて地区の体制の強化を図るとともに、必要な施設・設備の充実を図ります。	総務課 建設下水道課	<ul style="list-style-type: none"> ● 近年全国各地で頻発する自然災害に備え、地区防災計画に基づき、防災公園の整備や消防設備の更新等防災インフラの強化を行った。 ● また、自主防災組織の組成や防災備蓄倉庫の整備等、地域の防災力向上のための取組も行った。 ● さらに住民へのソフト対策としてホームページ上での防災サイトの作成、その中での防災マップ電子版の公表、全世帯への防災マップ（冊子）の配布を行った。 ● なお、整備が完了した野津防災公園及び宮原防災公園については運用を開始し、町民の安心安全に寄与しており、通常は様々な防災活動や地区のレクリエーション等に活用されている。 ● 広報誌や納税通知書にチラシを同封し、事業周知を図っている。耐震化補助実施後5件に耐震化に係る補助を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画やマップは作成した後に、日々の暮らしの中で活用してもらうことが必要であり、定期的な活動や制作物の更新が必要である。自主防災組織については、活動のマンネリ化や高齢化も想定されるため、日常的な活動への支援を行い、日頃から住民意識を醸成することが必要である。また、防災活動の効率化は見込めず、防災に関する自治体への要求は増加するばかりであるため、事業の取捨選択が必要となる。 ● また、一時避難所の整備について、有事の際に使用するのではなく多目的広場として多様な人々が利用する通常の公園としての機能を有するため、今後経年劣化等により維持管理にかかる費用が増加すると予想される。今後どのような形で維持管理を行うかの検討が課題である。 ● 事業周知を図っており、問い合わせはあるが、事業を利用する件数は少ない。事業の認知度と併せ、補助はあるものの、事業実施者負担が大きいため利用の拡充が図れていない。 ● また、耐震診断に係る県の補助もなくなったことから、さらに利用者が減ることが懸念される。
	②安全・安心な生活環境づくりのための防犯・暴力団排除の推進 身近な地区で防犯活動を強化するとともに、必要な施設・設備の充実を図ります。	総務課	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全・安心な生活環境づくりのため自治体・PTA・防犯ボランティアが連携してパトロールを実施しており、町全体の意識啓発に努めた。また、ハード事業では地区防犯灯の設置補助に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ぐるみで防犯対策を行っているが近年犯罪の多様化が進み、少子高齢化が進むにつれて、PTAや防犯ボランティアの人数の減少が見込まれるため、防犯のありかたについても検討が必要。防犯カメラの活用など効率化を検討しなければならない。
	③安全な暮らしを支える交通安全対策の推進 交通安全意識の向上を支援するとともに、交通安全施設の充実を図ります。	総務課	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通安全対策の推進として、交通指導員や地域と連携して子どもから高齢者まで、住民全体に対する交通安全教育を実施し、安全な暮らしを支える交通安全対策の充実を行った。また、ハード面では町内巡視、地区要望等により危険箇所を把握し、故障・劣化している交通安全施設を随時改善した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ぐるみで交通安全対策を行っているが、少子高齢化が進むにつれて、交通指導員等地域の交通安全指導の協力者の担い手選定に苦慮している。また、交通安全施設については数が膨大であり経年劣化による老朽化も顕著であるため維持管理に要する費用も増大する。
2. 地域の歴史・伝統・文化の継承	①古墳をはじめとする歴史的資源の保全、整備 古墳群などの拠点的な歴史的資源の保全や環境整備とともに、歴史資料の収集・保存及び活用のためのPR活動を進めます	生涯学習課 地域振興課	<ul style="list-style-type: none"> ● 野津古墳群の景観を損ねている樹木について伐採を行った。今後も計画的に伐採を行う。 ● 大王山2号墳について長年の裁判が結審したため判示された指定文化財部分を今後適切な保存等を含めお願いしていく必要がある。 ● 通年の草刈り等を実施し環境整備に努めている。また以前より、案内板や解説サイン等も整備され子ども達の教育の一助にもなっている。 ● 歴史資料等のパンフレットについて一部修正し作成した。また、町内文化財の展示を八代市の協力により八代博物館にて展示しPRを行った。 ● 八代市との展示に伴い町内の一部を調査した結果、出土品については八代博物館において展示品として展示させていただいた。 ● 指定を受けている民俗団体に対する助成を行うことにより伝統文化の伝承に寄与し地域学校協働本部事業やコミュニティ・スクール活動と連携して伝統芸能を保持できるよう活動した。 ● 【各地区のまちづくり活動支援（歴史資源の保全・PR）】地区要望での優先順位が低く、資源のある地区では活動に支援ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 伐採については、人力で行う必要があり範囲が限られる。 ● 大王山3号墳については、借地のため土地所有者との関係を保つ必要がある。2号墳については裁判で判示された部分を適切に保存・管理してもらうよう所有者等をお願いする必要がある。 ● 草刈りに伴う経費について町予算を投じているので今後は、ヤギ等を放牧し予算削減に努める必要がある。 ● 専門的な知識を高める必要がある。 ● 町史編纂作成については、専門家の協力と知識が必要である。 ● 伝統芸能の継承のため今後も助成を行う必要があるが各団体の高齢化と継承者の確保が課題である。 ● 【各地区のまちづくり活動支援（歴史資源の保全・PR）】各地区より要望があった際に地区別計画に基づき交付金対象とするが、要望は極めて少ない。
	②地域の伝統・文化の継承のため	地域振興課	<ul style="list-style-type: none"> ● 常任理事会並びに理事会を開催し文化祭等の実施を予定していたが、 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化祭や文化講演会を開催するにあたり会員の高齢化が課題である。

方向性	施策の体系	担当課	成果	課題
	<p>の地域活動の推進と人材の育成</p> <p>身近な地域の歴史的資源や伝統文化の保全・継承への取り組みを支援するとともに、担い手となる人材の育成に努めます。</p>	生涯学習課	<p>コロナの急拡大により中止せざる終えなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 町の歴史を学んでもらうため町内外の方に対して町の歴史研究会の会員に講師となっていた。 ● 【伝承館】伝承館の利用は各グループが積極的に活用され、各種クラブ員の交流等が図られている。 ● 【住民自治によるまちづくり活動支援事業（伝統行事関連）】各地区の伝統行事等には積極的にまちづくり補助金が活用され、伝統が検証されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門的な知識と情報の共有が大事である。 ● 【伝承館】利用するクラブの減少やクラブ員の確保が必要。子ども会や小中学校、生涯学習の一環での利用を検討する必要がある。 ● 【住民自治によるまちづくり活動支援事業（伝統行事関連）】各地区における伝統行事の支援については、伝統行事を継承していく人材の育成が必要。
	<p>③全町的な歴史的資源の活用とネットワーク化の推進</p> <p>町内の歴史的資源に触れ、親しむための散策ネットワークづくりを進めます。</p>	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ● 通年の草刈り等を実施し環境整備に努めている。また以前より、案内板や解説サイン等も整備され子ども達の教育の一助にもなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 草刈りに伴う経費について町予算を投じているので今後は、ヤギ等を放牧し予算削減に努める必要がある。
<p>3. 住民主役のまちづくりの推進</p>	<p>①住民自らが参画し、住民が主役となるまちづくりの支援</p> <p>住民が主体的にまちづくりに関わる機会を創出するとともに、継続的な参加のための仕組みや体制づくりを支援します。</p>	<p>地域振興課 企画財政課 総務課 生涯学習課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 全地区で自治組織が形成され、地区づくりにも主体的に取り組まれている。町も財政支援による地域の活性化を推進しており、まちづくりの体制が構築されている。 ● 地区づくりの活動拠点となるよう地区公民館が改修されている。 ● 【地区別計画の推進支援】各地区において地区別計画に基づく実践活動が実施されてきた。コロナ禍では実施できない地区もあった。 ● 【氷川まつりなどのイベントへの参画、住民交流】まつりにおける交流人口の拡大や特産品のPRは十分実施できてきた。ここ3年はコロナの影響により中止となった。 ● 【まちづくり条例の運用】条例に沿った建築開発の誘導を図ることができた。 ● 【住民自治組織の育成】地区別計画に沿った自主的な活動がみられる中、コロナ感染予防の観点から新たな取り組みは難しい状況だった。 ● 【住民自治活動の広報・情報交流】地区活性化交付金を活用して、まちづくり新聞を作成する地区がみられた。 ● 【まちづくりの運営体制の強化】まちづくり活動を担う NPO 団体など民間組織の発掘は出来なかった。 ● 【住民自治によるまちづくり活動支援事業】地区別計画に沿った活動を各地区で実施されてはいるが、新型コロナウイルスの影響もあり誘導しても現実的にできないところも多かった。 ● 【行政区活動活性化交付金】地区の地区づくりの目標に沿った交付金の助成をおこなうことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 少子高齢化による人口減少を見据え、自治組織のあり方や財政支援など、現状のまちづくり体制を持続可能なものにアップデートしていく。 ● 各公民館の改修はトイレの様式化、手すり設置など、高齢化に対応した改修が、増えている。 ● 【地区別計画の推進支援】地区づくり活動の地区の交流イベントにおいて、新型コロナまん延防止の観点から中止する地区がいくつかみられた。地区の年間計画を立てながらコロナで変更を余儀なくされることもあり、活動の偏りや区長の負担増加がみられる。 ● 【氷川まつりなどのイベントへの参画、住民交流】隔年で開催地を交互に変更しているため準備等が煩雑である。また、竜北公園開催時には氷川まつりとは別に桜フェスタを翌週に行っているが、小規模の同内容イベントを同時期に実施することの意義を検討する必要がある。 ● 【まちづくり条例の運用】開発建築行為を計画する事業者に対して、まちづくり条例に基づいた適正な土地利用、手続きにかかる期間等の理解を求め必要がある。 ● 【住民自治組織の育成】地区により自主的に活動するための組織形成を実施しているが、役職者の負担が大きく地区全体での活動としての意識づくりが必要。 ● 【住民自治活動の広報・情報交流】実施した事業について、年度末報告で把握することはできるが、タイムリーに発信するには地区からの情報提供体制が必要。 ● 【まちづくりの運営体制の強化】体制の強化を図るための民間団体の掘り起こしなど強化体制の構築が出来ていない。 ● 【住民自治によるまちづくり活動支援事業】地区別計画に沿った活動を各地区で実施されてはいるが、毎年同じ活動実施や実施のなされていない項目もあり、計画の目的である地区の理想に近づける活動に繋がっていない地区もみられる。新型コロナウイルスの影響もあることから、同じ事業のみ実施していた地区にも新たな活動を展開する助言等が必要である。 ● 【行政区活動活性化交付金】各種補助金を統合したことにより、区長や地区会計に負担が偏っているように感じる。

方向性	施策の体系	担当課	成果	課題
	<p>②まちづくりを担う人材やリーダーの育成</p> <p>住民がまちづくりについて学ぶ機会を充実させるとともに、まちづくりに意欲のある住民の連携のためのネットワーク化を支援します。</p>	地域振興課 企画財政課	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国大学生政策アカデミー実行委員会開催のアカデミーでは、各所から大学生が集まり、氷川流域の活性化を目指した調査研究・政策提言が活発に行われた。 ● 【まちづくりリーダー研修機能の強化】コロナ禍の中で町独自の取り組みは行えていない状況にある。 ● 【人材ネットワークの充実】新型コロナの影響で人的交流が出来ず実施していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年度以降アカデミーが開催されない予定であるため、現在大学連携を結んでいる大学などと町独自の事業の検討・実施が必要である。 ● 【まちづくりリーダー研修機能の強化】町が抱える課題解決のために、町の魅力を高め、発信することができる人材の育成が必要。 ● 【人材ネットワークの充実】民間の任意団体では積極的な活動を行っているが、町独自の取り組みは行えていない状況にある。
	<p>③まちづくりの新しい主体の形成</p> <p>まちづくりに自主的に取り組む団体やグループの組織強化・育成を支援していきます。</p>	地域振興課 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ● 町子ども会の加盟地区数は現状維持となっているが、他の団体の活動状況は不明である。 ● 【地区連携事業の検討】世帯数が少なく、地区づくり活動の実施に苦慮している地区に対し、地区連携事業の提案・推進の機会を図ってはいるものの、活用の実績はなかった。 ● 【テーマ型住民活動支援制度の確立・充実】事業に取り組んでもらうために周知の機会があったが、制度などの再検討などはできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍において、各地区が集っての活動機会が減少しているなか、新たな団体設立は困難な状況にある。 ● 社会経済活動の再開と並行し、各団体のメリットを区長会などを通じて伝え、団体設立・維持に努めたい（町子ども会においては、県子ども会連合会の協賛事業所利用や安全共済など）。 ● 【地区連携事業の検討】連携を必要とする事業や地区からの要望の有無を調査が必要。 ● 【テーマ型住民活動支援制度の確立・充実】新たな団体の発掘、育成が必要と思われる。 ● 【地区の各種団体の維持・設立の促進】各地区の団体や組織について把握できていない。
4. 住民自治を支える 行財政システムの確立	<p>①地域のまちづくりを支える人的体制の強化</p> <p>各地区のまちづくりや重点プロジェクトなどのテーマ別まちづくり活動を支援するとともに、人材育成や組織の育成を支援する行政の人的体制や組織の強化を図ります</p>	地域振興課 総務課 企画財政課	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区担当職員制度については定着しており、毎年度の地区要望書の作成や、各地区からの直接の問い合わせに対する1次対応と所管部局への引き継ぎを行っている。また、近年は、町の重点取組事項についての説明等を、地区担当職員が地区総会等に出向いて実施している。 ● 【人材育成の推進、機会の創出】継続した研修機会の創出ができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区担当職員の役割が、地区要望の取りまとめや地区総会等での町の事業説明にとどまっており、地区との関係が希薄である。地区担当職員に対し各地区と行政とをつなぐ重要な存在であるとの認識を深めるとともに、地区づくりに積極的に関わっていただけるような取り組みを進める必要がある。 ● 【人材育成の推進、機会の創出】継続した研修機会の創出が必要である。
	<p>②地域自治組織の活動を支える財政システムの確立</p> <p>様々な住民の自主的なまちづくり活動を支援するための助成制度の拡充と、それに連動する予算システムづくりを進めます。</p>	地域振興課	<ul style="list-style-type: none"> ● 窓口申請の一元化により事務の効率化が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 交付申請に係る区長負担が大きい。
	<p>③住民役のまちづくりを保证する行政体制・制度の改革</p> <p>行政施策全般における住民参加、住民との協働による施策推進のための体制や制度の充実に努めます。</p>	地域振興課 企画財政課 総務課	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政手続きのオンライン化については、国・県が提供するシステムの利用も開始すると共に、独自に導入した民間サービスによる環境整備を進めている。 ● 新型コロナウイルス感染症のため、会議や展示など施設活用が少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナの影響によって社会課題が浮き彫りとなり、国においてはデジタル社会の実現に向けた「自治体DX推進計画」を策定した。本町では国の示す方針に対応するだけでなく、町民の暮らし向上、地域の魅力創出、デジタル行政の実現に向けた情報基盤の充実が求められている。 ● 新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、安心して施設を活用できる方法を検討する。